

研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-161	A-169	23-092	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
Socio-economic inequities in emergency department visits for wholly alcohol-attributable acute and chronic harms in Canada, 2003-2017 カナダ (2003-2017 年) における飲酒に起因する急性・慢性損傷による救急受診の社会経済格差			
執筆者			
Benny C, Hobin E, Andreacchi AT, Schwartz N, Smith BT.			
掲載誌			
Drug Alcohol Rev. 2024 May;43(4):927-936. doi: 10.1111/dar.13821.			
キーワード			PMID
急性損傷、慢性損傷、救急受診、社会経済要因			38388158
要旨			
<p>目的: 低い社会経済的地位の人は飲酒に起因する損傷の不均衡を経験する。本研究では、飲酒に起因する急性・慢性損傷による救急受診と社会経済的地位との関連を男女別に検討する。</p> <p>方法: カナダ地域保健調査 (2003-2008 年) によるコホート研究データを、カナダのアルバータ州・オンタリオ州において救急医療レポートシステム (2002-2017 年) とリンクさせた。社会経済的地位は教育歴を用いた。社会経済的地位と飲酒に起因する急性・慢性の救急受診との関連を検討した。</p> <p>結果: 約 9 万人のデータを分析した。男女において、低い社会経済的地位は、急性の救急受診リスクが高く (ハザード比: 女性で 1.75、男性で 3.47)、慢性の救急受診リスクも高かった (ハザード比: 女性 2.24、男性 5.02)。急性・慢性の救急受診率は女性よりも男性で高かった。</p> <p>結論: 社会経済的地位は、飲酒に起因する急性・慢性損傷による救急受診に関連した。救急受診の社会格差を減らすために、平等な介入方法を検討する必要がある。</p>			